



ケンタ君

地図と測量の科学館で「近代測量」って書いてあったけど？

難しいことばを見かけたんじゃないかな。どんな意味なのか、くわしく聞いてみよう！



マップ博士

## 「近代測量」とは

「近代測量」とは、明治政府が国家統治に必要な最も基本的な情報として、我が国の国土の姿を統一的な基準で把握した枠組みのことを言います。2019年は、近代測量を行う機関が設置された1869（明治2）年から数えて満150年に当たります。



近代測量 150 年シンボルマーク

この年、明治政府は民部官庶務司戸籍地図掛を設置し、その後も様々な組織を設けて、各地の地名や地理の情報収集、西洋測量術の導入による三角測量・水準測量の実施、全国を網羅した縮尺5万分の1の地形図の整備等が実施されてきました。

その基本的な体系や枠組みは今日まで存続し、現在の国土交通省国土地理院の業務に受け継がれています。

また、第二次世界大戦以降の戦後復興期や高度経済成長期の道路整備、住宅建設、防災対策等のインフラ整備には、測量や地図作成の分野で民間が果たした役割も大きなものがあります。さらに、ここ20年ほどは、人工衛星を利用した正確な測量やICT（情報通信技術）を活用したデジタル地図など、新しい技術が次々に開発され、私たちの生活を豊かなものにしていきます。

「近代測量150年」としての節目である今年、これまでの歩みを振り返って測量・地図作成の果たした役割や重要性について理解を深めていただくと同時に、これからの未来に向けた発展に思いを寄せていただく機会になれば幸いです。

（総務部）